

新年度が始まります。

この1年間を振り返って皆さんはどんな感想ですか。私は「楽しかった」と感じています。皆さんの毎朝のあいさつや、授業で学ぶ姿に元気をもらいました。授業では、疲れてうつ伏してしまっている人や、集中できていない人もいましたが、先生方の「わかった！できた！」と感じさせるための授業デザインにより、多くの気づきがありましたね。そんな、活気ある授業は見ていて楽しいです。

また、部活動でも一緒に汗を流して、「若い奴にはまだまだ負けられない」なんて意地を張りましたが、頑張っって練習している皆さんに適うはずもなく、それでも、ラグビーのボールの投げ方を教えてもらったり、バドミントンのラリーや、サッカーの練習試合に参加させてもらったりした全てが楽しい時間でした。

ぜひ、年度末の今だからこそ、皆さんには「荒川工業高校で学ぶ意義」をもう一度見つめてほしいです。荒川工業は皆さんを社会に出すための準備を行う学校です。そのためには「絶対にあきらめさせない」ことを徹底しています。学習の指導、頭髪指導、挨拶指導、時間を守る指導など、「できないだろう」と思えば指導などしません。皆さんを社会に出すために必要なこと、皆さんならできると信じていることを指導しています。



次年度、荒川工業高校は「進路指導重点主義」を合言葉に、更に皆さんを育てていきます。皆さんも、自分の未来、可能性を信じ、挑戦してくださいね。くじけそうになったら、いつでも校長室に来てください。

最後に、今もまだ、今年度の学びを続けている仲間や先生方がいます。決してあきらめることなく、挑戦を続けています。頑張っている仲間を応援できる荒工生でいてください。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】放送による防災講話を実施しました。コロナ禍で避難訓練が思うように実施できない状況下でも、皆さんに「防災意識を高めてほしい」との思いが伝わる西野先生のお話でした。日本は世界でも有数の地震発生国で、これまでも多くの地震が起きています。関東大震災では10万人、東日本大震災では1万人を超える犠牲者が出ました。今後、大きな地震が30年以内に発生する可能性は70%とのことです。この確率をどう理解しますか。降水確率70%の日は傘を持って出かけますか？当然、持って外出しますよね。準備に何が必要かを具体的に考えるきっかけとなりました。先生！ありがとうございます。

【定時】避難訓練と登下校時の経路と危険個所を確認するワークショップを行いました。皆さんには自らの身を守る「自助」とともに、周囲の人たちを助ける「共助」が求められています。そのためにも、被災時に落ち着いて対応できるように、しっかりと準備が重要です。夜間で準備すべきことは、昼間とは少し違うはずです。それも皆さんの学びです。



「未来を創る！彩る！荒川工業」